

NPO法人 福祉サービス評価機構Kネット

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>理念に基づく運営</p> <p>1. 理念と共有</p>			
<p>1 地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p>	<p>「ゆっくり自然にあったかホーム笑顔、笑顔、そして笑顔の理念を地域の人々と共有するには、どうしたら良いか、職員全員で話し合い、町内会行事には積極的に参加している。</p>		<p>入居者の親族の1人が三世代交流協会の活動として、昔遊び、折り紙、などメンバーの方々と活動されているので、今後当方と隣近所の方々と交流を検討している</p>
<p>2 理念の共有と日々の取組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>	<p>家族へのたよりを活用したり、地域のイベントへ参加したりしている</p>		
<p>3 家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。</p>	<p>家族の面会時間を有効活用して、お話はさせて頂いてるし、毎月1回ホーム便りをだしている</p>		<p>まず、家族の面会回数が増える中で、利用者が家族共々、町内会へ溶け込めるように取り組んでいきたい</p>
<p>2. 地域との支えあい</p>			
<p>4 隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p>	<p>隣の有料老人ホームのケアマネとは名刺交換を行い、今後、有料老人ホームの入居者と当ホームの入居者との交流を図るべく検討している。</p>		<p>今後、隣の住人の方々と、こういった交流ができるか検討中です</p>
<p>5 地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>	<p>回覧板の案内で確認、盆踊り他、出来るだけ参加できるようにしている</p>		<p>積極的に参加していきたい。町内の役員の方と相談していこうと思っている</p>
<p>6 事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p>	<p>地域主催の研修会があれば参加の機会を設けるなどしている</p>		<p>このような視点からの地域参加もあるという事を、職員全員で理解し、検討していきたい</p>

NPO法人 福祉サービス評価機構Kネット

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	自己評価、外部評価の結果をミーティング時報告し、改善点について話し合っている		自己評価、及び外部評価の改善すべき点を重視し、速やかに改善していきたいと思っている
8 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	現在の取り組みを報告、その中での意見や報告等参考に、サービス向上に役立っている		もっと気軽に意見ができるような雰囲気を作る事が必要かと思う。また、内容等も一本調子にならぬよう変化をつけながら進めていきたい。
9 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。	問題点や相談事がある場合は、気軽に役所に行ったり、電話したりできる体制がある。また、包括支援センターにも気軽に行ける状況である		普段の時でも、もっと気軽に立ち寄り話をしたいと思う
10 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。	一部の職員は理解できている。成年後見制度については、支援する用意がある		全職員が理解できるよう機会を設けたい
11 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがない要注意を払い、防止に努めている。	ホームとして、虐待廃止を掲げており、職員に浸透している		徹底して虐待廃止を継続していきたい
4. 理念を実践するための体制			
12 契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	説明の際には、十分な時間と場を設けるよう配慮している。また、文書に残すようにしている		より具体的にわかりやすい説明を心がける事が必要と思っている。相手側からの解約の要望があった場合、十分にその理由を聞き、以後の参考にしたい

NPO法人 福祉サービス評価機構Kネット

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
13 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	日々、コミュニケーションをとる中で、気軽に言葉にできるような環境や、関係作りに取り組んでいる。廊下に苦情相談を提示し、気軽に苦情や意見が言える体制になっている		
14 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。	特変、あるいはちょっとした状態の変化があれば、その都度連絡し、日々の様子などに関しては、月1回の新聞等で報告している		新聞をもっと充実させ、家族に、より詳細に報告したいと思っている
15 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	廊下に苦情相談を提示し、気軽に相談できるようにしている。また面会時などでも、できるだけコミュニケーションをとるよう心がけている		
16 運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	会議の場を設け、意見交換をしている。また、管理者事業主に対しても気軽に意見が言えるような環境を心がけている		毎朝の申し送りの中でも意見交換がある
17 柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	レク、あるいは外出等は、状況に応じて馴染みの職員が付添いなど、要望に副えるような勤務体制作り配慮している		
18 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	職員が継続して勤務しやすいよう心がけている。異動に関しては、極力ないようにしている。異動、離職がある際には、混乱等ないように説明、配慮している		できるだけ離職がないよう本人の意見や相談ができるよう体制を整えたい

NPO法人 福祉サービス評価機構Kネット

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>段階に応じた内容の研修、講習への参加や、日々の指導を心がけている。カンファ等の時も、必要に応じて社内研修を行うよう心がけている</p>	<p>職員のスキルアップのためにも、職員自らが、研修に臨めるような環境を整えていきたい。できるだけ研修(有料・無料含)を受けさせたいと思っている。</p>
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>	<p>地域のグループホーム間での見学など行っている。また近隣の有料老人ホーム等との交流も考えている</p>	<p>同業者との交流は深めていきたい。同じ区内だけでなく、他の区との交流の機会をもちたいと考えている</p>
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>	<p>気軽に相談、悩み等に応えられるよう気をつけている</p>	<p>職員のストレス解消の為に、福利厚生面の充実を検討していきたい</p>
22	<p>向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>	<p>研修、講習等希望があれば、できるだけ副うよう努力している</p>	<p>職員の働きやすい環境作りを実現していきたいし、職員の資格取得に向けた支援を行う</p>
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>入居前に出来る限り本人と会い、情報を得、細かな対応ができるよう努力している</p>	
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>家族の悩み、相談等を把握し、どのように関わり合っていくか努力している</p>	<p>家族との信頼関係をどう築いていくのか、家族の思いを受け止める努力が必要である</p>

NPO法人 福祉サービス評価機構Kネット

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25 初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	まず、本人にとって何が問題か、また何が必要かを見極め、その後の対応を考えるようにしている		他のサービスも含め、もっと具体的なきめ細かな対応が必要と考える
26 馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	まずは職員、また他の利用者との自己紹介から入り、挨拶等しながら徐々に馴染んでいくよう心がけている		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	支援する、される側という意識を持たず、共同生活していけるよう心がけている		
28 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	面会の際には、日々の様子や小さな変化など伝え、理解と信頼を得られるよう努めている		
29 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	本人と家族の橋渡しとなるように努めている		もっと家族との理解を含め、正月やお盆等できるだけ来て頂けるよう働きかけていきたい
30 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	昔の知り合いや、友達等への送り迎えもできうる限り行っている		

NPO法人 福祉サービス評価機構Kネット

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	数人で一緒にいる時は、できるだけ声をかけ合い、利用者同士が共通の話題をもつよう心がけている		共同生活での目に見えないルールが守っていけるように支援していきたい
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	退去したり、利用者のところへ面接へ行ったり、向こうから来たりと行き来している		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人・家族の意向を一番大切にしてケアプランを立てている		本人、家族の意向を重視したケアマネジメントを今後も行っていきたい
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	モニタリングをし、1ヶ月毎の見直しをし、細やかな経過の把握に努めている		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	一人ひとりの1日の行動を把握し、総合的に判断するよう心がけている		よりきめ細かな把握と適確な判断を養えるよう取り組んでいきたい
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	介護支援専門員の意見をもとに、本人の希望、家族等の意見を取り入れ、地域との関わりも関連づけた介護計画を作成するよう心がけている		長期にならぬようできるだけ柔軟性をもたせ本人の状態の変化に対応できるよう、臨機応変に対応できるよう心がけている

NPO法人 福祉サービス評価機構Kネット

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
37 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	必要(変更)に応じて、ケアプラン作成している		モニタリングを実施していく(1ヶ月に1回を目標に)
38 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに生かしている。	ケース記録は毎日実施している		要約した記録が残せ、分かり易い記録記入に取り組みたい
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	適切なアドバイスや要望に添った対応ができるよう心がけている		1Fホール等をもっと利用して、家族し、職員との交流を深めて行きたい
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	運営推進会議のメンバーの中に、地域の民生委員、副支部長さんに入ってもらっている		地域の町内会との結びつきを作っていきたい
41 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	本人希望に応じ、訪問理美容のサービスが受けられるよう支援している。また他のサービス等の相談にもなっている		もっと幅広い情報が必要だと感じている。他のグループホームやその他の機関等とも交流を深めていきたい
42 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	運営推進会議に地域包括支援センターの職員に参加してもらって、協力関係を構築している		権利擁護等で話し合いを持ちたいと思っている

NPO法人 福祉サービス評価機構Kネット

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	定期的な往診と訪問看護によるバイタルチェックを実施して、利用者の健康管理に努めている		利用者の健康管理のため、定期的な往診と、バイタルチェックは継続したい
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	特定の専門医はいないが、内科、外科、精神科等の医者とは機会がある毎に相談したり、また、専門医を紹介してもらったりしている		
45 看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	訪問看護による医療連携は行っている		
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	入院時には、本人に関する情報提供したり、現状を確認したりしている。家族とも連絡を取り、情報交換を行っている		入院等の病院の指示に従う事が多く、こちらから積極的に働きかけて行きたい
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	状況や状態の変化に応じ、その都度機会を設け細めに相談、検討している		現実的には、不完全な状態であると思う。今後の重要な課題と考えられている。早急に考えて行きたい
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	変化を見逃さないよう、日々観察、相談を密にして、全職員で方向性を検討している。また、主治医とも相談の上本人の今後について検討していくようにしている		本人の希望、家族の希望を第一に考え、医者と相談しながらホームとしてどこまでできるか検討していきたい

NPO法人 福祉サービス評価機構Kネット

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>49 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	<p>グループホームで必要な医療が提供できなくなった時は、家族、病院、ホーム側と相談して住み替えとなる場合がある</p>		<p>住み替えの必要性と、それに伴うダメージは想定していく必要がある</p>
<p>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
<p>50 プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	<p>個人情報の保護は気をつけている</p>		<p>個人情報の保護を図って行きたい</p>
<p>51 利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	<p>本人に説明し、納得の上で合意頂く様に努めている</p>		
<p>52 日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>一人ひとりの生活のペースを大切に考えて支援している</p>		
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
<p>53 身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、利用・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	<p>本人希望の理髪店へ行っている。できるだけ買い物とかの外出もし、本人の希望によっては化粧品等、おしゃれもしながら外出している</p>		
<p>54 食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしているか。</p>	<p>出来る事や希望があれば、協力願うようにしている。また本人の好みも聞き入れるようにしている。100%とまではいかないが、できるだけ希望に副うようにしている</p>		<p>好きな物とか、食べたいものとか、好みは分かっているのだが、それほど多くは出してあげられない、もう少し多くしてあげたい。</p>
<p>55 本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。</p>	<p>医師の制限がない限り、本人の希望に合わせ、楽しみの一つにできるようにしている</p>		

NPO法人 福祉サービス評価機構Kネット

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
56 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	排泄に関しては、さりげない対応を心がけている。極力おむつを使用しないよう、自分の力でできるよう支援している		
57 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	体調を重視して、入浴を勧めている		
58 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	安眠・休息の一人ひとりのパターンを重視している		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	調理の下ごしらえ、片付けには入居者に参加してもらっている		気分転換の為に、外出していただける様支援したい
60 お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	お小遣いは、ホーム側で保管している事が多いため、本人には自己管理できていない人が多い。外出時は自分で支払える人には支払ってもらっている。		買い物同行が増えるようにしていきたい
61 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	希望に応じ外出、買い物など行っている。散歩や、公園、ペットショップ等天気の良い日はできるだけ出かけるようにしている		100%の要望に応えられてはいないが、天気の良い日はできるだけ外出を心がけている。車椅子の利用者も、希望があれば車で買い物へかけている
62 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが言ってみない普段はいけないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	山へのハイキングや魚釣り等、希望があれば事前に予定を組み行っている		車で遠出のドライブ等も行っているが、中々家族と一緒にというのが少なく、できるだけ家族も参加してもらえるように働きかけていきたい

NPO法人 福祉サービス評価機構Kネット

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
63 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している。	代筆や電話の応対等、本人に代わって用件を伝えるなどしている		
64 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	面会時にはゆっくりと過ごしていただけるよう配慮している。1Fのホールを使ってもらったり、時には、事務所等も使ってもらったりしている。		
(4) 安心と安全を支える支援			
65 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	基本的に身体不拘束の方針で取り組んでいる		より徹底し、具体的にどの程度までが拘束に入るか話し合っていきたい
66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	見回りを多くする、行動を事前に予測するなど、様々な予防、工夫をしている		
67 利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	利用者の様子は常に確認しながらケアを行っている		利用者の安全は、常に念頭に置いて今後も支援していく
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	利用者にも応じて対応している		
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	入居者一人ひとりの対応、注意点に配慮しながら、事故防止に心がけている。ヒヤリハットに記入した事項を再発防止に役立てている		事故報告書、ヒヤリハットの記入内容が減るように取り組んでいきたい

NPO法人 福祉サービス評価機構Kネット

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
70 急変や自己発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	全ての職員が対応できる状態になっていないが、至急やらなければならないと思っている		応急手当、事故発生に備えて、定期的に訓練を実施していきたい
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	火災や、地震等の対応は、日頃より話し合い、訓練等行っている。		災害対策の協力を地域の方々より得られるように心がけていきたい
72 リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	予測できる事故や、様々な事柄については、家族に伝え、相談している		時間が経つと、一人ひとりの状態も変わっていくので、その状態に応じ、細やかな説明をしていきたい
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	毎朝決めた時間にバイタルチェックを行い、体調変化の早期発見に努めている		毎朝実施しているバイタル測定は継続していく
74 服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	服薬管理は間違えないように注意して実施している		薬の副作用に注意しながらも、服薬確認の支援を続ける
75 便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	便秘に気がつけたメニュー、必要に応じた便秘薬も飲用してもらっている		水分補給、食事の内容に注意、また、運動不足にならないように注意する
76 口腔内の清潔保持 口の中の汚れやおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	毎食後、口腔ケアを実施している		口腔ケアは継続していく

NPO法人 福祉サービス評価機構Kネット

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
77 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	毎食、一人ひとりの食事、水分摂取量を記入している		食事、水分の記録は継続する
感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症のマニュアルがあり、定期的なカンファの中でも取り入れている		より徹底して職員一人ひとりに浸透させたい。感染予防の具体的な提示が必要だと考えている
79 食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	調理器具等は、定期的に漂白したり、食材の消費期限のチェックを行っている。特に夏場の生ものについては細かくチェックしている		台所周辺は常に清潔に保つことを心がけている
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり			
(1)居心地のよい環境づくり			
80 安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	見易くわかりやすい表現にしたり、装飾などを行っている。花等を植え、常にきれいに保つように心がけている		季節の花等を飾ったり、常にきれいに心がけている。継続していきたい
81 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用にとって不快な音や光がないように配慮し、生活観や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	限られた空間の中で、季節感を味わえるように四季毎の装飾を行っている		共用部分については、特に清潔に保つように心がけている
82 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	空間は限られているが、特に制限なく自由に使用できるように開放している。居間ではくつろげるよう配慮している		
83 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	持ち込む家具類に制限はないので、個々に好みの物を持ってきて使用している。使い慣れたものを使って貰い、希望に副うようにしている		常に清潔に、また整理整頓し、きれいに保つよう心がけている

NPO法人 福祉サービス評価機構Kネット

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
84 換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	掃除の際の換気や、食事前など、居間が空く時間に必ず換気するようにしている		温・湿度計を置き、日常的にチェックをし、窓の開閉等コマめに行っている
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85 身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	玄関から風呂、トイレ、廊下等手摺りをつけ、安全に配慮している		本人の体力維持のためにも、歩行練習など、もっとできるように取り組んでいきたい。
86 わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	入居者が混乱したり、不穏にならないように心がけている		
87 建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	ベランダはないので、活動するには外へ出ないとできない。屋外行事を工夫している。		

. サービスの成果に関する項目			
項目		取り組みの成果	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない	
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族 家族の2 / 3くらい 家族の1 / 3くらい ほとんどできていない	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	

. サービスの成果に関する項目			
項目		取り組みの成果	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	
98	職員は、生き生きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどいない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載) 一人ひとりの利用者が満足して生活しているか、また何が足りないか、家族がどのようなサービスを、またどのような生活を望んでいるかを理解し、100%までとはいかないまでも、ホームとしてどこまでやれるか、やれるところを実践していくよう心がけている